

日本食道学会より

『非根治切除となった食道癌症例に対する術後治療とその治療成績に関する研究（調査）』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

局所進行食道癌に対して食道切除術を施行した際の術中所見や術後の病理組織検査で、顕微鏡的または肉眼的な癌の遺残を認めることがあります。このような症例に対し追加療法がしばしば検討されていますが、その治療戦略は未だ確立されていません。そこで本テーマについて、我が国での実態を調査するために、カルテデータを用いた全国多施設共同研究を学会主導で行います。

➤ 研究（調査）の方法

2011年1月1日から2020年12月31日に食道外科専門医（準）認定施設において、食道癌に対する食道切除を施行された患者さんのうち非根治切除（結果的に癌の遺残があると判断された）患者さんを対象とし、カルテデータから個人情報を除いた必要な情報を抽出し、中央集計したのち解析を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

食道外科専門医（準）認定施設

➤ 調査期間

調査対象期間（2011年1月1日から2020年12月31日） 研究期間（2024年8月14日～2026年3月31日）

➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は個人情報を除いたカルテデータを用いた臨床研究であり、新たな負担や不利益は一切ありません。

➤ この調査への協力は任意です。

本研究にご自身のカルテデータを用いられることを希望されない患者さんは主治医にその旨をお伝えください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者：渡邊雅之（がん研究会有明病院 消化器外科・食道外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局

〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階

TEL: 03-6456-1339 FAX: 03-6658-4233 E-mail: office@esophagus.jp